

介護士がお伝えする 入所居室階でのご様子

新型コロナウイルスの感染拡大防止するため、入所階は入浴がストップしてしまいました。入浴は心身ともにとても重要な要素です。お風呂に入れない代わりに体を清潔に保つために身体の清拭とともに居室内で足浴や洗髪を行っています。

その1 全身ポカポカ！足浴で温まろう！

日中は靴下を履いていると感じませんが、実はすごい汗を足はかいています。冬のこの時期は分厚い靴下を選んでの方が多く、その上から靴を履くととてもムレます。入浴するとしっかり洗えますが、それが出来ないとなると・・・そう！足浴です。バケツに温かいお湯をはり、足を浸すと・・・「はああ～気持ちええなあ」と利用者様の声が。しばらくお湯に浸かっていると溜まった汚れが浮いてきます。ボディソープを使って手でやさしくマッサージするように洗います。もちろん足の指の間も！「痛いけど、気持ちええね」。足は第二の心臓ともいわれますね。足を温めて、たまった老廃物を心臓に送り返す役割があります。足を温めると全身ポカポカしてきますね。夜はぐっすり眠れるので評判よかったですよ！



その2 即席シャワーで！ ベッドでシャンプー

特別な介護用品がなくても、家にあるものを工夫すればベッドでシャンプーも簡単にできます。

バスタオルとビニール袋、バケツと手桶（ペットボトルでもOK）これだけです。

洗髪前にしっかりブラッシングしたあと、ベッドに仰臥位（仰向け）になり、首元に濡れないようにタオルを巻いて、すこしずつお湯で流していくと・・・「ちょっと怖いね」と利用者様。そりゃそうですね。何が始まるんだろうと少し不安になってしまいます。「シャンプーしますね」と声掛けしながらしっかりお湯で髪を濡らしたらシャンプーをつけてマッサージ。しばらくシャンプーできていなかったの、頭も気持ち悪かったはず。頭皮って汗腺も多く、皮脂の量もたくさん出ます。シャンプーでしっかり洗って、汚れを落としていきます。「気持ちええわあ～」「ありがとう！ありがとう。気持ちよかったです。しばらく頭洗ってなかったもんなあ」と笑顔の利用者様。私達も心がほっこりしてきます。



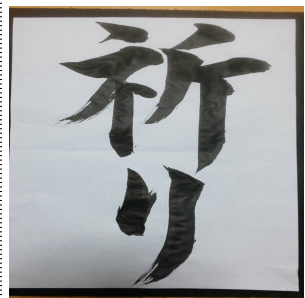
その3 ホットタオルを使って 清拭を

背中やお腹周り、わきの下など、肌着と服が重なる部位は汗もたくさん出ます。ホットタオルを使って全身を拭いて皮膚トラブルがないかチェックします。必要に応じてお薬やローションなども塗っていきます。高齢者は皮膚が薄く、些細な傷でも悪化しやすく、清潔に保つことはとても大切なことです。定期的な清拭でお肌のコンディションを保ちます！

2月の漢字

まげ止麗ごん。は射めとで今自分なく、たただ、現状を受届きましてと信じて、この『祈り』が

悪の伝染病は世界を巻き込んで私達の生活をいとも簡単に一変させました。あじさいにおいても例外ではありません。この暗く長いトンネルの出口は見えてくるのだろうか？今までの生活を取り戻せるのだから、毎日やろうか。毎日の巡り場のない思いが体中を駆け巡ります。私達は前に進むしかありません。



新型コロナウイルス感染のご報告とお詫び

施設長 尾原 秀史

新型コロナウイルスの感染対策を強化していたにもかかわらず、昨年12月30日に当施設職員1名の新型コロナウイルスの感染が判明してからこれまでの間、施設内でも利用者様や職員の感染が確認されました。（これまでの感染状況は随時ホームページに掲載し、お知らせしています。）現在、収束に向かって、これまでの濃厚接触者や接触者である利用者様や職員を対象に観察を続け、PCR検査を行い、神戸市福祉局監査指導部、神戸市保健所へ状況報告と行政機関の指導を受けながら、さらに感染防止に努めております。

ご家族様、ご利用者様には、多大なご不便とご心配をおかけしていますことを深くお詫び申し上げます。

今後も引き続き職員一同、感染防止対策に努め、一日も早く完全収束のお知らせができますよう、また、地域の皆様に安心安全な介護サービスが提供できますよう一層努力してまいります。何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

私達が今伝えたい コロナの怖さを 職員の心のつぶやき

いつものケアができない。

広間での集まりもできず

お話もできず

声はあも、小さな声に

なってしまう、もどかしさ

みんなで、乗り切ろう！

コロナなんか

負けないぞ！

早く元気な

あじさいに！

家族にうつして

しまうと家に

帰れない。

ママ・

顔がこわい。

幼い子供に

言われ、

元気

ださなきゃ！

自分が

無症状で、

知らない間に

感染していたら

他の人に

うつしてしまったら

と思うと怖くて眠れない。

感染よりケアで

治療されていた

入所者が一般棟に

戻られた。

本当にうれし。

元気になられて良かった。

「がんばって、身体気を付けて」

家族様からお言葉をかけて

いただき、うれし。

施設内と一歩外へ

でた一般の人達との

緊張感の違い。

温度差を感じる。

年末からお正月、

今も子供、孫達に

会えない。

例年なら楽しく

過ごしていたのに

コロナが憎らしい。

デイケアや

ショートステイ

地域の

皆さんに

早く

利用して

いただきたい。

あじさい新聞

第167号

発行所

シバースティあじさい

編集 新聞部

神戸市北区緑町

8丁目12-1

TEL 078-583-2233

介護風景

なんていまり能間感でい上すハがが染頂ま離。ビ低多りいすれ充り下くステ。分科しなクにお換なで、つがま部気運は精て高す屋消動、神しいに毒り感的また流をハ染にすめれしビ予も。ホるてり防孤移！Bはを立動ル理G元で微感やで学M気き底を会過療もをなし感話ご法懐だく、じがす士かして部る少時しても屋方な間N歌い声ごくが短話たがと増なく、曲だけにくる、をけし体てこかる。操きと部屋けよ2をてで、けようま行い、エ！つま身い楽夫トてす体るしししい。機時

編集後記

お早早職私ののか想私後従入施
届くく員達おらの像達方事つ設例
け元完みの言のをは支るは年
で気全んえの支葉をいの超見援医とひにど
できるな切りたなをいたお現ウの他、看護師、感、エリ、アの最前線
日があじさいに。楽しい記事を書きま
編集長 内田

あじさい家族会お知らせ

毎年、家族会総会を1月に開催していましたが、施設内の新型コロナウイルス感染のため、第18回総会を中止とさせていただきます。各家族会会員様にはご迷惑をおかけしますが、家族会費決済の報告を後日送付の予定です。今後とも家族会運営にご理解とご協力をお願いいたします。

あじさい事務局